

三菱自動車、軽スーパーハイトワゴン『デリカミニ』が2023-2024日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて「デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、軽スーパーハイトワゴン『デリカミニ』が日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会が主催する2023-2024日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて、秀でた内外装デザインを持つクルマを選出する「デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞したことを発表しました。三菱自動車が本賞を受賞するのは初めてとなります。



2023-2024 日本カー・オブ・ザ・イヤー
デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー 受賞

日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会主催

受賞理由は以下の通りです。

「近年厳ついフロントマスクがブランド・ランゲージだった三菱が一転、愛らしく魅力的な表情を採用したことが評価された。しかも販売台数はeKクロススペースの3倍強を達成。デザインが商品性の高さに直結する大切な要素であることを自ら証明してみせた。同社にとってアイコン的存在でもあるデリカのモデル名を用いるだけでなく、外観面でも同じ世界観を共有した意義も大きい。」

『デリカミニ』は「頼れるアクティブな軽スーパーハイトワゴン」をコンセプトとし、タフでギア感のあるSUVスタイリングと広々とした室内空間、力強い走りを融合させたミニバン『デリカ』の名を冠した軽スーパーハイトワゴンです。

「DAILY ADVENTURE（日常に冒険を）」をデザインテーマとし、力強さと安心感を表現する立体的な「ダイナミックシールド」フロントデザインに、特徴的な半円形のLEDポジションランプを内蔵したヘッドライトを組み合わせ、凛としながらも親しみやすい、『デリカ』らしい表情としました。またフロントバンパーとテールゲートガーニッシュには立体的な「DELICA」ロゴを採用するとともに、前後バンパー下部にプロテクト感のあるスキッドプレート形状を採用、さらに光沢のあるブラックのホイールアーチとすることで、『デリカ』ならではのSUVらしい力強さと高い質感を表現しました。

加えて、アウトドアから日常使いまで利便性に優れた機能的なインテリア、後部座席でも快適に過ごすことができる広々とした室内空間、「マイパイロット」や「三菱 e-Assist」といったドライバーをサポートする運転支援機能、砂利道など未舗装路の運転も安心して快適な走行

性能などを特長とし、日常からレジャーシーンまで家族や仲間と楽しく過ごせる時間を提供します。

『デリカミニ』車種サイトはこちら

URL：https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/delica_mini/

『デリカミニ』スペシャルサイトはこちら

URL：https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/delica_mini/special/

■2023-2024 日本カー・オブ・ザ・イヤーの概要

44 回目を迎えた今回の日本カー・オブ・ザ・イヤーは、2022 年 11 月 1 日から 2023 年 10 月 31 日までに日本国内で発表または発売された乗用車を対象としています。11 月 3 日に「10 ベストカー」が選出され、11 月 22 日の 10 ベストカー取材会を経て選考委員による投票が行われ、12 月 7 日の最終選考会にて「2023-2024 日本カー・オブ・ザ・イヤー」を決定。同時に、「インポート・カー・オブ・ザ・イヤー」、「デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー」、「テクノロジー・カー・オブ・ザ・イヤー」も決定しました。

以 上